

ブーツMT 水密性試験報告書

(推進HP500用)

2010年6月

株式会社 イトーヨーギョー

1. 目的

ブーツMT の水密性を確認する。

2. 評価方法

MT を所定の施工手順にて施工し、マンホール内側より水圧をかけ水密性を確認する。なお、この際、MT に作用する水圧は外水圧より厳しい条件の内水圧となるため、安全側での評価となる。

・水 圧 0.10 MPa
・保持時間 3 分

3. 試験体

継 手	ブーツ	MT 推進HP500
接 続 管	ヒューム推進管	呼び径 500
1号マンホール	穿孔径	714mm

4. 水圧試験

4.1 試験方法

- 1)マンホールの穿孔部に所定の手順に従って接続管およびMT を取り付ける。
- 2)管の一方の端部に止水板を取り付けた後、表-1に示す接続条件で固定する。
それぞれの試験装置を図-1～3に、試験状況を写真1～3に示す。
- 3)表-1の接続条件の試験体に0.10MPaの水圧を3分間保持した後、漏水等の異常の有無を目視により確認する。

表 - 1 接 続 条 件

接続条件	略図/写真
通常位置	図-1 写真-1
屈曲変位 (変位量 5°)	図-2 写真-2
水平変位 (変位量 60mm)	図-3 写真-3

4.2 試験装置

1) 通常位置の水密試験装置を図-1に、試験状況を写真-1に示す。

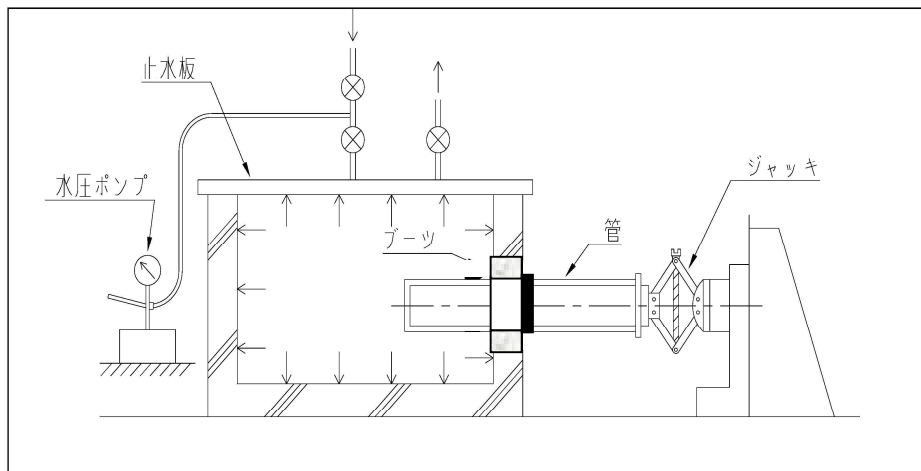


図 - 1 通常位置の水密試験装置



写真 - 1 通常位置の水密試験状況

2) 屈曲変位を与えた場合の水密試験装置を図-2に、試験状況を写真-2に示す。

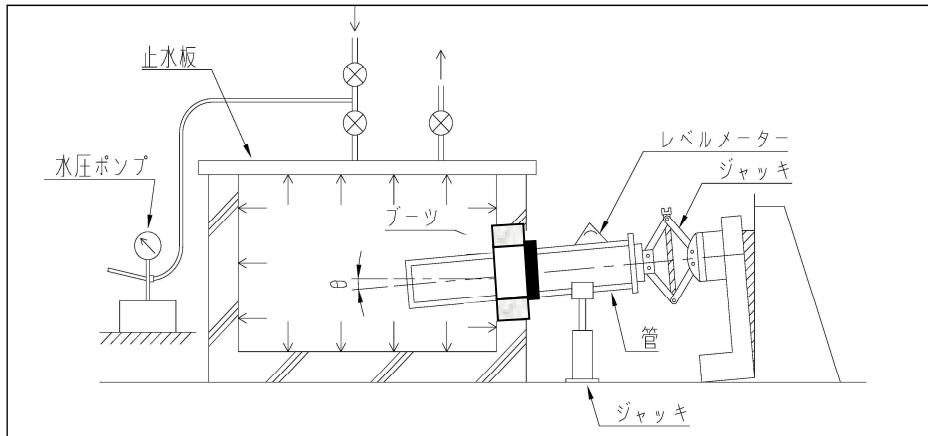


図 - 2 屈曲変位を与えた場合の水密試験装置



写真 - 2 屈曲変位を与えた場合の水密試験状況

3) 水平変位を与えた場合の水密試験装置を図-3に、試験状況を写真-3に示す。

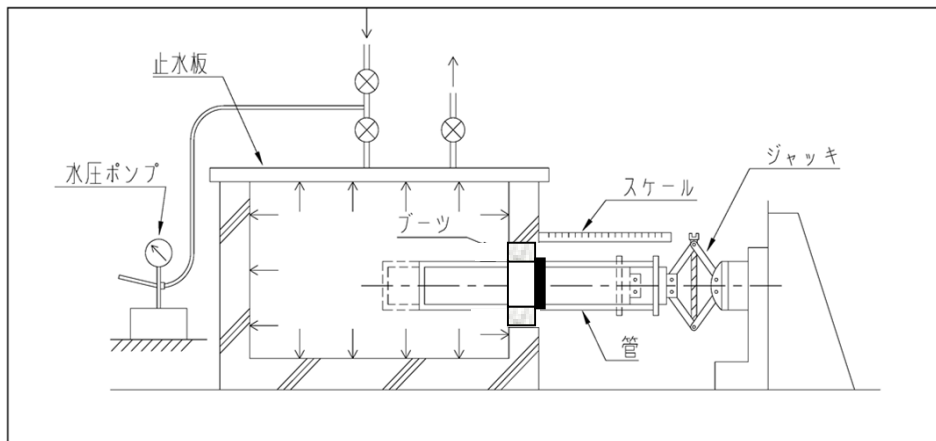


図 - 3 水平変位を与えた場合の水密試験装置

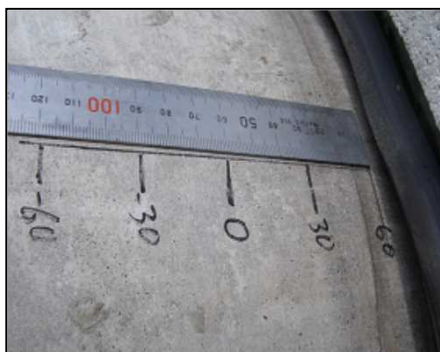


写真 - 3 水平変位を与えた場合の水密試験状況

4.3 結果

水密性試験結果を表 - 2に示す。

表 - 2 水密性試験結果

接続条件	水圧 (MPa)	保持時間 (分)	結 果
通常位置	0.10	3	漏水なし
屈曲変位 (変位量 5°)	0.10	3	漏水なし
水平変位 (変位量 60mm)	0.10	3	漏水なし

5. 試験結果

マンホールにブーツMT を使用し接続管を、通常位置、屈曲変位5°および水平変位60mmそれぞれの接続条件で固定し、0.10MPaの水圧を3分間保持する水密性試験において、ブーツMT に漏水等、異常の無いことが確認された。

以上